

# コンパクトクールキット 取扱説明書

(クラッチ / スリムラインホース)

製品番号	09-07-2229 (3-Fin)
	09-07-2230 (4-Fin)

適応車種	Ape50 (AC16-1000001 ~)
	Ape50 (F1) (AC16-1600001 ~)
	(AC18-1000001 ~)
	Ape100 (HC07-1000001 ~)
	(HC13-1000001 ~)
※弊社製ダイカストマグネシウムクラッチカバーを装着しなければ、当製品を取り付ける事は出来ません。	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品を取り付けると、Ape 純正フロントフェンダーはフェンダー後部がオイルクーラーと干渉して、そのままでは装着出来ません。

フェンダーを干渉しない形状にカットして下さい。

◎当製品の取り付けには、タンク脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に作業を行って下さい。

◎当製品は、適応車種に合致する車両で、弊社製ダイカストマグネシウムクラッチカバーを装着している車両に取り付ける事が出来ます。

◎ダイカストマグネシウムクラッチカバー装着車両に当製品を取り付ける場合には、カバー一部に傷が付かない様に注意して作業を行って下さい。塗装が剥がれてしまった場合、剥がれた部分のみでも再塗装を行って下さい。

## オイルクーラーキット使用上のご注意

クラッチカバーにオイルホースを接続した場合、必ず付属のオイルホールプラグ又は、別売のサーモユニット (02-01-5052) を取り付けして下さい。何も取り付けが無かった場合、オイルクーラーにエンジンオイルが循環しませんのでご注意ください。

又、クラッチカバー付き車両で、シリンダーにオイルホースを取り付けた場合は、絶対にオイルホールプラグやサーモユニットは取り付けないで下さい。オイル通路が遮断されエンジンが破損します。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。)

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

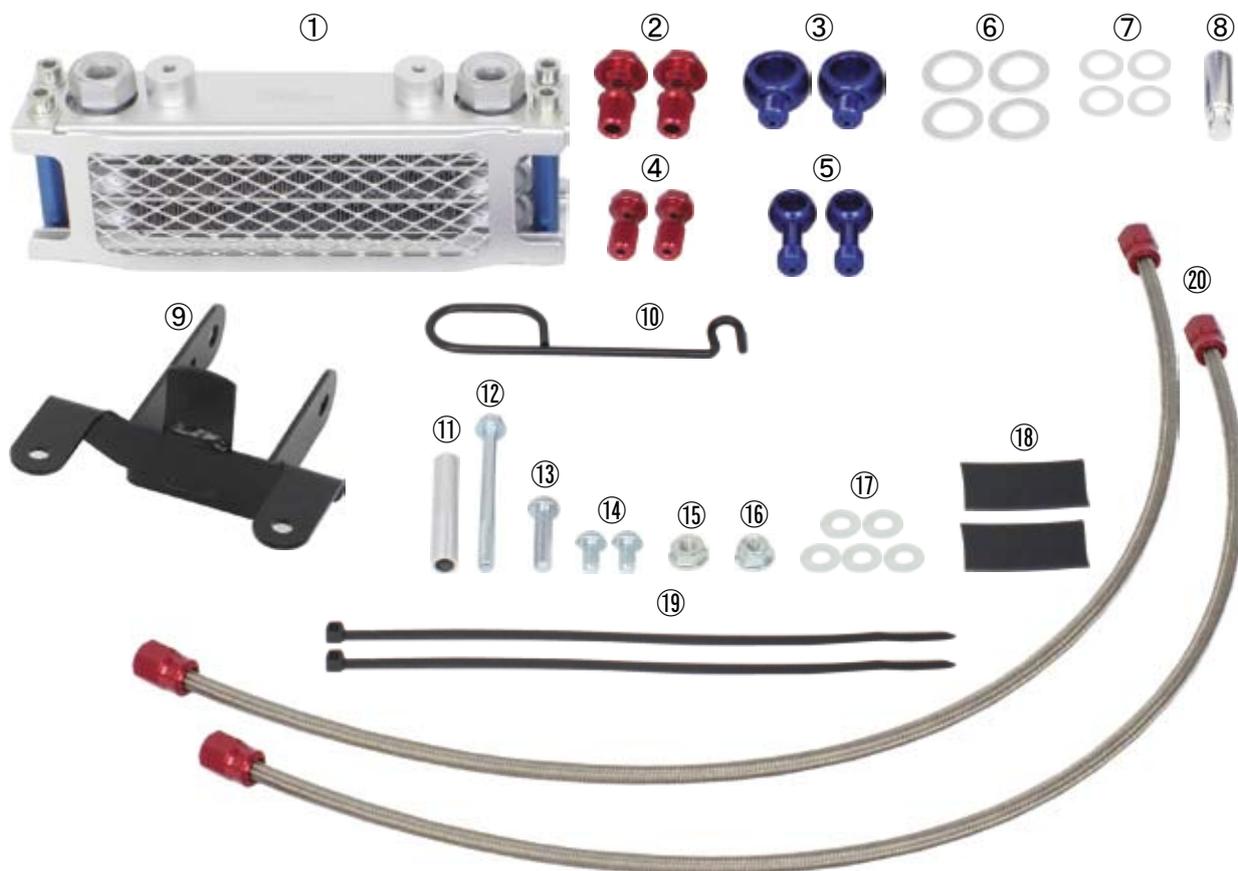
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	オイルクーラー ASSY.	1	00-07-0055 (3-Fin) 00-07-0008 (4-Fin)
2	パンジョーボルト M12x1.0	2	00-07-0034
3	パンジョー M12	2	00-07-0041
4	パンジョーボルト M10x1.25	2	00-07-0084
5	パンジョー(ストレート)	2	00-07-0006
6	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042 (5ヶ入り)
7	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0010 (10ヶ入り)
8	オイルホールプラグ	1	00-02-0391
9	オイルクーラーステー COMP.	1	15660-GEY-T00C
10	フロントケーブルガイド	1	51530-GEY-T00
11	ディスタンスカラー	1	15664-GCR-T00
12	フランジボルト 6x65	1	00-00-0891 (3ヶ入り)
13	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x25	1	00-00-0126 (5ヶ入り)
14	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x10	2	00-00-0092 (5ヶ入り)
15	フランジナット 6mm	1	00-00-0173 (6ヶ入り)
16	フランジUナット 6mm	1	00-00-0091 (6ヶ入り)
17	プレーンワッシャ 6mm	5	00-00-0086 (10ヶ入り)
18	ラバープレート(両面テープ付)	2	
19	結束バンド 200mm	2	00-00-0269 (10ヶ入り)
20	オイルホース 555mm	2	00-07-0028

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ  
お願い致します。

●作業を始める前に

- キット内容をご確認ください。
- 作業に適した工具を用意します。
- 車両をメンテナンススタンド等で、しっかりと水平に安定させ、純正サービスマニュアルを参考にシート、フューエルタンク、フロントフェンダーを取り外します。
- ※オイルクーラーを取り付けると、純正フロントフェンダーはフェンダー後部がオイルクーラーと干渉して、そのままでは装着出来ません。フェンダーを干渉しない形状にカットして下さい。
- フロントフューエルタンクパッド下部の穴に⑪ディスタンスカラーを入れます。



- 先ほど通した⑪ディスタンスカラーとフレームを、⑨オイルクーラーステー COMP. で挟む様に入れます。
- ⑫フランジボルト 6x65 に、⑬プレーンワッシャ 6mm を通して、車体左側よりボルトを通して、⑬プレーンワッシャ 6mm と⑮フランジナット 6mm を取り付けます。
- クーラーステーをフレームに押し付けた状態で⑮フランジナット 6mm を規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
フランジナット  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

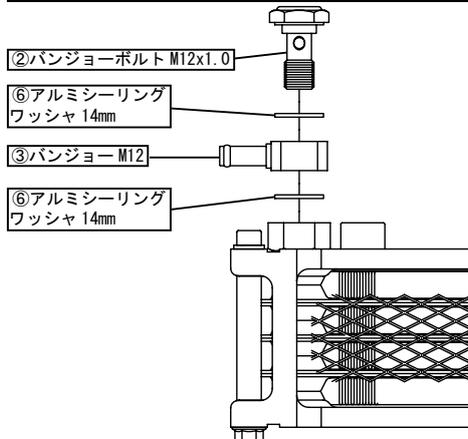


- ⑭ボタンヘッドスクリュー 6x10 に、⑯プレーンワッシャ 6mm を通して、先ほど車両に取り付けた⑨オイルクーラーステー COMP. に①オイルクーラー ASSY. を取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドスクリュー  
トルク：9N・m (0.9kgf・m)

- ②バンジョーボルト M12x1.0 に、⑥アルミシーリングワッシャ 14mm、③バンジョー M12、⑥アルミシーリングワッシャ 14mm の順で通し、①オイルクーラー ASSY. に仮締めします。

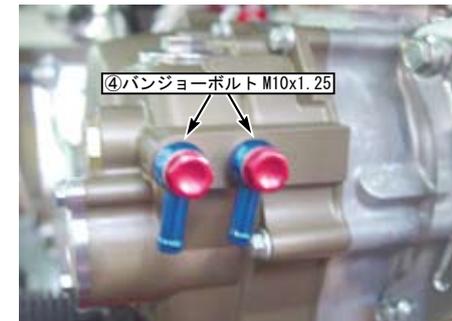
⚠注意：アルミシーリングワッシャが、オイルクーラーヘッダー（6角部分）の凹部からずれた状態でバンジョーボルトを締め付けた場合、オイル漏れの原因となります。



- オイル受けを用意して、クラッチカバー側面部（車両前側）にあるオイルプラグボルトを取り外します。



- ④バンジョーボルト M10x1.25 に、⑦シーリングワッシャ 10mm、⑤バンジョー（ストレート）、⑦シーリングワッシャ 10mm の順で通し、クラッチカバーに仮付けします。



- キット付属の⑳オイルホースを、マフラー等に干渉しない様オイルクーラーに取り付けた③バンジョー M12 と、クラッチカバーに取り付けた⑤バンジョー（ストレート）に仮締めします。

- 仮付けてある③バンジョー M12 及びバンジョーの角度を調整します。
- ②バンジョーボルト M12x1.0 と、④バンジョーボルト M10x1.25 を規定トルクで締め付けます。

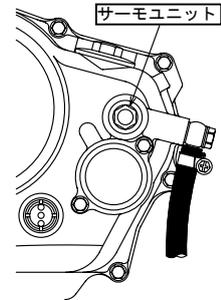
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M12x1.0 (オイルクーラー側)  
トルク：25N・m (2.5kgf・m)  
バンジョーボルト M10x1.25 (クラッチカバー側)  
トルク：13 ~ 15N・m (1.3 ~ 1.5kgf・m)  
フィッティング  
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

⚠注意：オイルクーラー側のバンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

- オイルホースが遊ばないように⑲結束バンド 200mm でフレームと共に束ね、ホースの動きを規制します。
- この時、オイルホースとフレームが干渉しない様に⑳ラバープレート をフレーム側に貼り付け、ご使用下さい。

(サーモユニットを取り付ける場合)

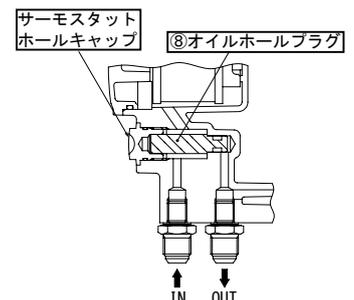
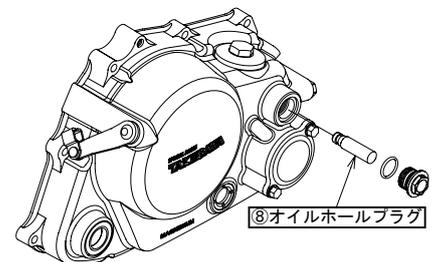
- ・ホールキャップを取り外し、サーモユニットを取り付けます。
- ※サーモユニット取扱説明書をご確認ください。



(サーモユニットを取り付けない場合)

- ・サーモスタットホールキャップを取り外し、付属の⑧オイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
- ・サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ホールキャップ  
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



- エンジンを始動し、各部よりオイル漏れ等の有無を確認して下さい。
- エンジンを止め、約一分後にクラッチケースカバーのオイルポッドウインドでオイルの量を確認し、少ない場合は必ず補充して下さい。

⚠注意：クラッチカバーからクーラーホースを外し、プラグボルトを取り付けた場合は、(購入時の状態)必ずオイルホールプラグ若しくはサーモユニットを取り外して下さい。

何かを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性が有ります。

- 最終確認の項目へ進んで下さい。

### ●最終確認

- 取り付けの為に外した外装類やマフラーがあれば、元通り車両に取り付けます。
- フロントフォーク L. に付いている純正フロントケーブルガイドを取り外し、キット内の⑩フロントケーブルガイドに交換し、⑬ボタンヘッドスクリュー 6x25、⑰プレーンワッシャ 6mm、⑱フランジリナット 6mm を使用して取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

ボタンヘッドスクリュー  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

- ・純正サービスマニュアルを参考にフロントブレーキパネルからフロントブレーキケーブル、スピードメーターケーブルを取り外し、フロントケーブルガイドに通した後、取り外しの逆の手順で取り付けます。  
フロントブレーキケーブルのテンションが変わるので、サービスマニュアルを参考にケーブルの遊びを調整して下さい。  
フォークをボトムさせ、ケーブル干渉が無いことを確認して下さい。



- ステアリングを左右一杯に切り、取り付けしたオイルクーラーやステア類が、フロントフォーク等や車体と干渉しないか確認します。
- スパークプラグを外し、キックスターターを複数回踏みおろしてオイルをエンジン内に回した後、スパークプラグを取り付けます。
- エンジンオイルを、オイルクーラー容量程度 (4-Fin:60cc・3-Fin:40cc) 追加し、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れの有無を確認して下さい。  
エンジンを止め、約1分後に車体を垂直に立てて、オイルレベルゲージで基準範囲内にあることを確認し、少ない場合は補充して下さい。

⚠ 注意：エンジン始動後は、オイルクーラーやシリンダー等が高温になりますので、十分注意して下さい。